

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	English Expression 1
科目基礎情報						
科目番号	0080		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子機械工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	前期:2 後期:2		
教科書/教材	Vision Quest (啓林館) / Vision Quest ワークブック (啓林館) / 英和辞典					
担当教員	橋爪 仙彦					
到達目標						
Reading 簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解できる。 Listening 英語での指示や質問の内容を理解できる。 Writing 基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を書ける。 Speaking 決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解し、内容を正確に理解できる。		簡単な英語で書かれた比較的短い文章をほぼ直読直解できる。		簡単な英語で書かれた比較的短い文章であっても直読直解できない。	
評価項目2	英語での指示や質問の内容を正確に理解できる。		英語での指示や質問の概要を理解できる。		英語での指示や質問の内容を理解できない。	
評価項目3	基本的な構文を十分理解し、それを用いて簡単な英文を文法的に正確に書ける。		基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を間違いはあるものの書ける。		基本的な構文を理解できないため、それを用いた簡単な英文であっても書けない。	
評価項目 4	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。		決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。		決まったフレーズを用いても自己紹介や簡単な会話ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。					
授業の進め方・方法	1週に2時間の授業で、Vision Quest (啓林館) を使用し、教室では主に英文法を学ぶ講義形式の授業と、LL教室で主にリスニングと会話をおこなう演習形式の授業を展開する。					
注意点	English Expression 1は文法1単位、LL1単位の通年授業である。 評価については文法50%、LL50%となる。 文法の評価割合は、試験30%、ポートフォリオ10%、発表5%、態度5%とする。 文法のポートフォリオには、小テスト、レポートなどが含まれる。 LLの評価割合は、ポートフォリオ30%、発表10%、態度10%とする。 LLのポートフォリオには、リスニングテスト、レポートなどが含まれる。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Orientation 授業の進め方の説明 LL教室の機器の使い方		教室での授業の受け方を知る。 LL教室の使い方等を理解できる。	
		2週	Lesson 1 Let's have lunch together sometime.		文の種類について理解することができる。 「イントネーション、相づちを打つ。聞き直す」などが活用できる。	
		3週	Lesson 1 Let's have lunch together sometime.		Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 ペアワークをしながら、自己紹介をすることができる。	
		4週	Lesson 2 Are you interested in Japanese anime?		文型と動詞について理解することができる。 「リズムと言い換え」などが活用できる。	
		5週	Lesson 2 Are you interested in Japanese anime? Show & Tell		Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 自分の興味・関心について、まとめて、発表することができる。	
		6週	Lesson 3 I'm going to Okinawa with my family.		時制について理解することができる。 「母音や計画・予定」についての英語を活用できる。	
		7週	Lesson 3 I'm going to Okinawa with my family.		Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 英語を用いて計画を立てることができる。	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	試験返却と解答			
		10週	Lesson 4 I hear you've joined the soccer team.		完了形について理解することができる。 「子音や原因・理由を述べる」英語を活用できる。	
		11週	Lesson 4 I hear you've joined the soccer team. Useful Words & Phrases		Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 ペアになって「完了形」の質疑応答ができる。	
		12週	Lesson 5 Can you tell what ammitsu is like?		助動詞について理解することができる。 「カタカナ語や許可・依頼」の英語を活用できる。	
		13週	Lesson 5 Can you tell what ammitsu is like?		Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 レストランでの会話についてペアワークができる。	
		14週	Lesson 6 I'm glad I can see the Sydney Opera House.		受動態について理解することができる。 「数字の発音や感情表現」の英語を活用できる。	
		15週	期末試験			
		16週	試験返却と解答			
後期	3rdQ	1週	Linking Words Lesson 7 It's very nice of you to say so.		不定詞について理解することができる。 「アクセントや感謝・謝罪」の英語を活用できる。	
		2週	Lesson 7 It's very nice of you to say so.		Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 会話文を聞いて、練習問題を解くことができる。	

		3週	Lesson 8 How about going to see a musical?	動名詞について理解することができる。 「つながる音や勧誘・申し出」の英語を活用できる。
		4週	Lesson 8 How about going to see a musical?	Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 リスニング演習やペアワークなどを円滑に行う。
		5週	Lesson 9 I'm for school uniforms.	分詞について理解することができる。 「変わる音や賛成・反対」の英語を活用できる。
		6週	Lesson 9 I'm for school uniforms. Paragraph	Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 リスニング演習やグループワークなどを円滑に行う。
		7週	Lesson 10 How do you spend Christmas?	関係詞について理解することができる。 「聞こえなくなる音や説明」の英語について活用できる。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	試験返却と解答	
		10週	Lesson 10 How do you spend Christmas?	Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 リスニング演習やペアワークなどを円滑に行い、説明文を英語で書くことができる。
		11週	Lesson 11 Did you watch the debate on TV last night?	比較について理解することができる。 「文の中での強調や意見を述べたり主張する」英語について活用できる。
		12週	Lesson 11 Did you watch the debate on TV last night?	Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 グラフなどを用いて英語で説明できる。
		13週	Lesson 12 I wish my parents were more understanding.	仮定法について理解できる。 「アメリカ英語とイギリス英語、助言や提案」の英語について活用できる。
		14週	Lesson 12 I wish my parents were more understanding.	Exerciseを行いながら文法事項の確認をする。 リスニング演習をしたり、英作文で意見を述べることができる。
		15週	期末試験	
		16週	試験返却と解答	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	1	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	1	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	1	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	

評価割合

	試験	ポートフォリオ	発表	態度			合計
総合評価割合	30	40	15	15	0	0	100
基礎的能力	30	40	15	15	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0